

第5回多文化医療研究会
ワークショップ
2018年10月20日

**患者側要因に配慮した生活習慣・
生活習慣病の管理**

順天堂大学医学部
総合診療科学講座
横川博英

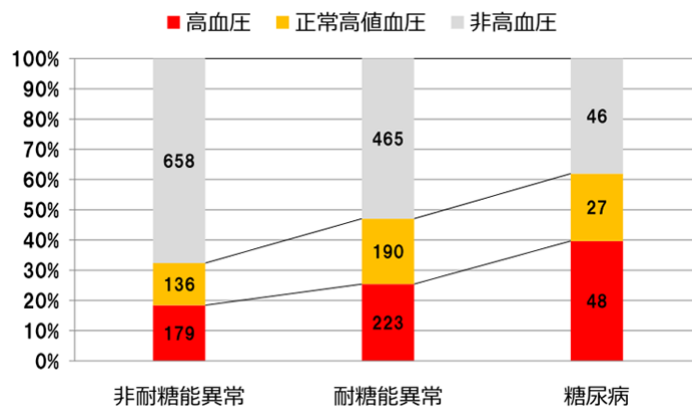
本日の話題提供

1. 主な生活習慣病の達成状況
2. 肥満に関連した意外な健康障害との関連
3. 良好な生活習慣の生活習慣病へのインパクト
4. 患者側要因としてのヘルスリテラシー

主な臨床関連の疫学研究

国際	高血圧患者に対する減塩介入	タイ(チェンライ)
	効果的な禁煙介入	タイ(チェンマイ)
	移民労働者における生活習慣病と職業性ストレス予防に関する介入研究	タイ(チェンマイ・バンコク)
	ミャンマーにおける生活習慣病に関する実態解明と予防策の検討	ミャンマー(ヤンゴン)
国内	血糖コントロールに関するヘルスリテラシーを考慮した患者側要因の解明	東京・福島
	健診受診者を対象としたヘルスリテラシーと健康的な生活習慣	東京・福島
	産業医と主治医の連携	東京
	健診受診後の未受診の要因	東京

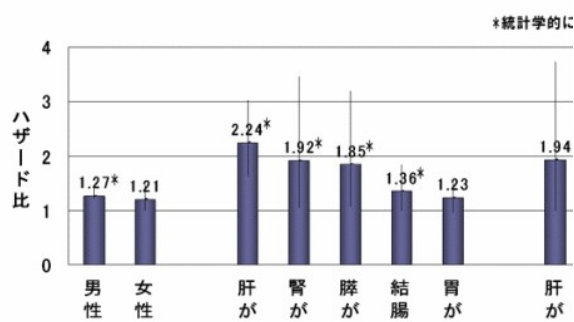
糖尿病患者に、その他複数の生活習慣病が合併しやすい



Iimura O. Hypertens Res Vol.19, Suppl. I 1996

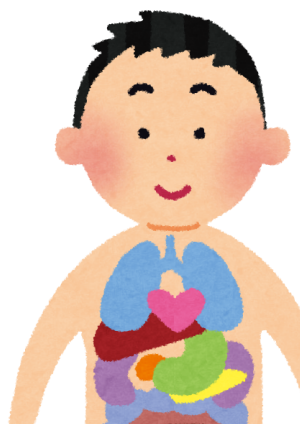
糖尿病患者は、一般集団と比較して悪性疾患の罹患が多い
多目的コホート研究(JPHC研究)

糖尿病既往とその後のがんとの関連
—糖尿病既往なしの人を1としたときの「あり」の人のリスク



Arch Intern Med. 2006 25;166:1871-7.
<http://epi.ncc.go.jp/jphc/outcome/288.html>

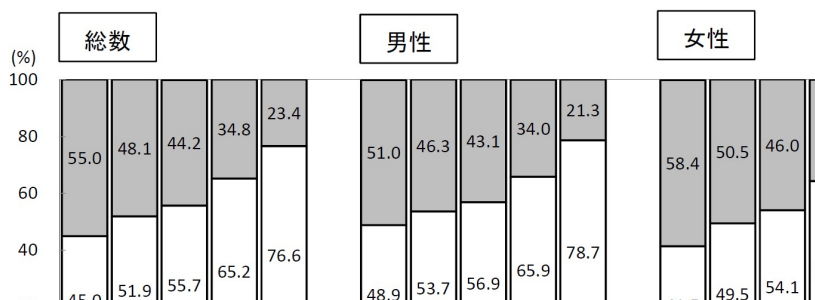
糖尿病の診療・療養指導の際にできるだけ全身幅広く見渡すことが大切。定期的な通院が重要。



<https://ameblo.jp/pilates-bodywork/entry-12308276828.html>

平成28年国民健康・栄養調査

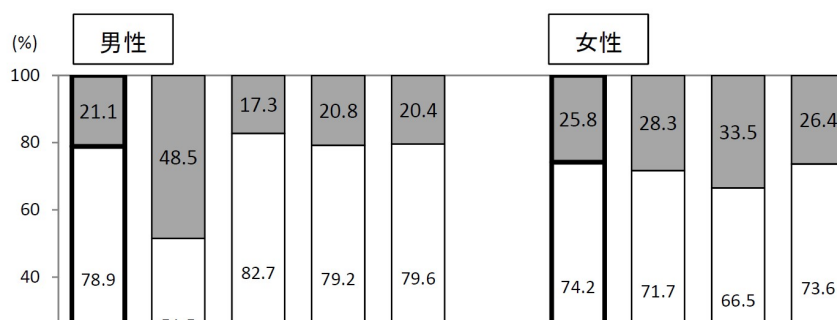
図3 「糖尿病が強く疑われる者」における治療の状況の年次推移(20歳以上、平成9年、14年、19年、24年、28年)



糖尿病患者の定期通院率は徐々に改善傾向。

「無」と回答した者。

図4 「糖尿病が強く疑われる者」における治療の状況(40歳以上、性・年齢階級別、全国補正值)



しかし、20%以上の患者は治療中断・未治療。特に、男性の50歳未満の治療中断・未治療はとても多い。



糖尿病をはじめとする**生活習慣病の治療中断・未治療**はまだまだ大きな課題。

糖尿病治療中断の主な原因

【環境因子】

1. 経済的な負担
2. 受診日の天候
3. 受診日に仕事などの用事と重なる

【個人内因子】

1. 受診することにストレスや怒りやつらさを感じる
2. 受診しなくても大丈夫だと思う
3. 受診しても血糖コントロールが良くならない

医師側要因としてとても重要